

# 令和5年度 学校マネジメントシート

学校名 ( 木本高等学校 全日制 )

## 1 目指す姿

(1) 目指す学校像		○自分の良さを伸ばしながら、目標や夢の実現に向けて努力を続ける生徒を育成します。
		○地域に誇りを持ち社会に役立つ人を育み、「地域に信頼される学校」をめざします。
(2)	育みたい 児童生徒像	○自分の夢や目標をしっかり持ち、その実現に向けて努力を続ける生徒。 ○学習や部活動に積極的に取り組み、自分の良さを伸ばそうとしている生徒。 ○地域に誇りや愛着を持ち、地域の地域や世界を舞台に活躍する力を持った生徒。
	ありたい 教職員像	○目指す学校像実現に向け、連携の意識と向上心を持ち、自分の良さを活かして仕事をする教職員。 ○授業を大切にし、生徒の学力向上と進路希望実現に努め、生徒の良さを引きだそうとする教職員。

## 2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		○生徒：進路実現に向け、学力向上と的確なキャリア教育、進路指導をしてほしい。 ○保護者：毎日楽しく学んで成長し、進路希望を実現させてほしい。 ○進学先：目的意識が明確で、意欲的に学ぶ学生がほしい。 ○就職先：素直で元気が良く、向上心と粘り強さを持った人材がほしい。 ○地域社会：高校生の力を活かして、地域を活性化したい。	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<b>連携する相手からの要望・期待</b>		<b>連携する相手への要望・期待</b>
	○保護者：子どもを理解し、それを踏まえた教育をしてほしい。安全安心な学校作りを進めてほしい。 ○中学校：卒業生(本校への入学生)や高校の様子、入試に関する情報を知らせてほしい。 ○地域社会：地域行事や住民活動、防災の取組等で、高校生に活躍、協力してほしい。 ○進学先：基礎学力と目的意識を持たせて進学させてほしい。 ○就職先：社会人として必要なコミュニケーション能力を育成してほしい。	○保護者：本校の教育活動に理解、協力をしてほしい。特に、家庭でのしつけと学習環境の確保に努めてほしい。 ○中学校：基礎学力と目的意識を持たせて進学させてほしい。 ○地域社会：生徒の成長を温かく見守り、本校の教育活動に協力、支援してほしい。 ○進学先、就職先：体験活動の実施や情報収集等キャリア教育を中心に、本校の教育活動に協力、支援してほしい。	
(3) 前年度の学校関係者評価等		○学習面では、ICT活用や学習活動の工夫により、一人ひとりにあったきめ細かい教育活動を行い、希望進路の実現に努めてほしい。また特別活動等において、適切な自己判断や主体的な活動ができる力を身につけるような取り組みを行ってほしい。 ○本校の活性化にも繋がる小中学校や地域住民との連携について、多岐にわたる活動を深め、情報発信にも努めてほしい。	

(4) 現状と課題	教育活動	○新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業計画や指導力の向上を図り、主体的な学習活動となるよう教員間で生徒状況を把握・共有し、それぞれの進路実現に取り組む。学校行事等の様々な場面で、達成感や自己肯定感が高まるような活動に取り組む。
	学校運営等	○授業力や進路指導力、生徒指導に繋がる信頼向上の意識を高め、教職員の資質の向上に取り組む。そのために教員間での情報共有や連携を深め、働きやすい職場づくりに取り組む。中学生や地域の方々に、活動内容や実績、連携を含めた情報の発信に取り組む。

### 3 中長期的な重点目標

教育活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒一人ひとりの意欲を高め、学力を伸ばす。</li> <li>2 生徒一人ひとりと向き合い、規範意識を高める。</li> <li>3 生徒一人ひとりに応じて、細やかな進路保障に努める。</li> </ol>
学校運営等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 全教職員が連携して授業改善とキャリア教育を進め、生徒の学力向上と進路希望実現に努める。</li> <li>2 教職員が意欲的に充実感を持って仕事に取り組めるよう、連携・協力の態勢を強化し、業務内容の見直しと効率化をすすめ、総勤務時間を縮減する。</li> <li>3 地域等のニーズ把握と連携、PRに努め、教育活動を改善し、地域からの信頼を深める。</li> </ol>

### 4 本年度の行動計画と評価

#### (1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
一人ひとりを大切にしたい安心安全の学校づくり	<p>○生徒一人ひとりの状況を把握し、教員間で共有する。</p> <p>【活動指標】学級担任による個人面談等を実施する。</p> <p>【成果指標】年間3回以上。</p> <p>【活動指標】生徒個々の状況を学校全体で共有する会議を開催する。</p> <p>【成果指標】年間、定期的に5回以上、臨時に必要回数。</p> <p>○生徒の「命を大切にしたい心」を育てる。</p> <p>【活動指標】命について、生徒が考える機会を多く設ける。</p> <p>【成果指標】講話、講演会等を年間3回以上実施。</p> <p>○いじめを許さない学校風土を定着させる。</p> <p>【活動指標】いじめについての生徒アンケートを実施し、その結果を分析・確認、教員全体で共有する。</p> <p>【成果指標】年間3回以上。</p> <p>○学校全体で人権意識を高める。</p> <p>【活動指標】人権LHRを実施する。</p> <p>【成果指標】年間3回以上。</p> <p>○防災に対する意識を高め、災害時の対応力を高める。</p> <p>【活動指標】防災訓練、防災に関する講話等を実施する。</p> <p>【成果指標】年間3回以上。</p>		

<p>学習指導</p>	<p>○生徒一人ひとりの意欲を高め、生徒の学力を伸ばす。</p> <p>(1)授業を大切にす姿勢を学校全体で示す。</p> <p>【活動指標】チャイムと同時に授業を開始する。教員はチャイム前に教室に到着する。</p> <p>【成果指標】チャイムと同時の授業開始が生徒調査で100%。</p> <p>(2)進路希望実現に向けて、3年生対象の補習授業を積極的に展開する。</p> <p>【活動指標】授業日、長期休業中に補習授業を行う。</p> <p>【成果指標】授業日と長期休業中に5教科の補習授業を行う。</p> <p>(3)自主的学習の意欲を高め、個々の状況に合った個別学習を支援する。</p> <p>【活動指標】生徒が自分に適した学習について考える機会を多くつくるとともに、それに沿った学習を定着させる。</p> <p>【成果指標】Webを利用した個別学習の1人あたり平均受講講座数各学期5回（年間15回）。</p> <p>(4)「新学習指導要領」「大学入学共通テスト」に対応した学習指導の改善を進める。</p> <p>【成果指標】学校全体での共通した取組2件以上。</p>		<p>◎</p>
<p>生徒指導</p>	<p>○生徒一人ひとりと向き合い、生徒の規範意識を高める。</p> <p>(1)ルールと挨拶を大切にす姿勢を学校全体で示す。</p> <p>【活動指標】登校指導を原則全授業日に学校全体で分担して行い、服装頭髪の確認と挨拶をする。</p> <p>【成果指標】規定とおりの頭髪服装で登校し、挨拶をする生徒が90%超。</p> <p>(2)全教員が一致協力して指導の徹底を図る。</p> <p>【活動指標】イエローカードの活用等で頭髪服装、携帯電話等の指導を徹底する。</p> <p>【成果指標】規範意識が高まったと実感する生徒が95%超。</p>		
<p>進路指導</p>	<p>○生徒一人ひとりに応じて、きめ細やかな進路保障に努める。</p> <p>(1)生徒の進路意識を高め、早期の進路目標設定とその実現に向けた指導を強化し、卒業時の進学先に対する満足度を高める。</p> <p>【成果指標】進学決定者の進学先に対する満足度90%以上。就職:卒業時の内定100%。</p> <p>(2)生徒一人ひとりの状況を把握し、教員間で共有する。</p> <p>【活動指標】1,2年生対象の学力・学習力に係わる研修会を開催する。また、3年生対象の個別検討会を開催する。</p> <p>【成果指標】年間2回以上。</p>		
<p>改善課題</p>			
<p>(年度末に記載)</p>			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>教職員の 資質向上</p>	<p>○教職員の指導力、課題への意識を高める。</p> <p>(1)他者からの視点を活かして、授業力を高める。</p> <p>【活動指標】授業を公開し、参観者の感想を全教職員で共有する。</p> <p>【成果指標】授業公開期間を年2回設定。</p> <p>【活動指標】生徒対象の学習アンケートを年度前半と後半に実施する。</p> <p>【成果指標】授業満足度が前半より後半が5%以上向上</p> <p>(2)進路指導力を高める。</p> <p>【活動指標】進学指導の校内研修、勉強会を開催する。</p> <p>【成果指標】年2回以上。</p> <p>(3)「命を大切にすることを育む教育」の指導力と意識を高める。</p> <p>【活動指標】“命を大切にすることを育む教育”の校内研修を開催する。</p> <p>【成果指標】年1回以上。</p> <p>(4)法令遵守、信頼向上の意識を高める。</p> <p>【活動指標】生徒への体罰・セクハラに関するアンケートを実施するとともに、法令遵守の校内研修を開催する。</p> <p>【成果指標】アンケート、校内研修ともに、年3回以上。</p> <p>【活動指標】校外の事例を全教職員で共有する。</p> <p>【成果指標】年10件以上。</p>		
<p>関係学校・ 地域等との 連携強化</p>	<p>○地域のニーズ把握と信頼関係深化に努める。</p> <p>【活動指標】本校教職員が地元小中学校・県立学校の教職員と情報交換・交流する機会を積極的に設ける。</p> <p>【活動指標】保護者・地域住民・小中学生及び地元小中学校・県立学校の教職員に本校生徒の様子を直接見ってもらう機会を多く設ける。</p> <p>【成果指標】生徒の活動の様子の公開3回以上。</p>		

働きやすい 職場づくり	<p>○総勤務時間を縮減する。</p> <p>(1) 総勤務時間縮減の意識を高める。</p> <p>【活動指標】定時退校日を月に1日設定する。</p> <p>【成果指標】定時退校日に定時退校した職員の割合80%以上。</p> <p>【活動指標】会議を効率化し時間を短縮する。</p> <p>【成果指標】60分以内に終了する放課後の会議の割合80%</p> <p>(2) 超過勤務を縮減する。</p> <p>【活動指標】業務を精選・効率化・分散化する。</p> <p>【成果指標】時間外労働時間月間45hおよび年間360hを超える職員0人。</p> <p>(3) 休暇取得を増やす。</p> <p>【活動指標】夏季休暇を完全取得する。</p> <p>【成果指標】夏季休暇以外の特休及び年休取得(4~1月)の合計日数の平均16日以上。</p> <p>(4) 他の教育活動とバランスのとれた計画的な部活動を行う。</p> <p>【活動指標】各部毎に、休養日を週に1日以上(できれば平日1日、週休日1日など2日以上)設定する。</p> <p>【成果指標】休養日を月4日以上実施した部の割合100%。</p> <p>○教職員間の連携意識を向上する。</p> <p>【活動指標】各会議に(議事とは別に)情報交換、現況報告の時間を確保する。</p> <p>【成果指標】職員会議を除く全会議に確保し、全員が発言。</p>		◎
学校の将来像 の具体化	<p>○当地域における新高等学校の具体像について協議し、その決定に資する。</p> <p>【活動指標】県教育委員会や紀南高等学校等とともに「紀南地域新高等学校設置ワーキング会議」を開催し、各専門領域に分かれて準備を進める。</p> <p>【成果指標】本年度内に新高等学校の基本理念・教育方針等をまとめ、地域の協議会等で報告・公表する。</p>		
<b>改善課題</b>			
(年度末に記載)			

## 5 学校関係者評価

明らかになった 改善課題と次へ の取組方向	(年度末に記載)
-----------------------------	----------

## 6 次年度に向けた改善策

教育活動につ いての改善策	(年度末に記載)
学校運営につ いての改善策	(年度末に記載)